

**N8403-004 ディスクアレイコントローラ**  
**Windows Server 2003 対応**  
**アレイドライバ アップデート手順書**

## はじめに

本書は、以下のシステムで使用する N8403-004 **ディスクアレイコントローラ制御用ドライバ**をアップデートするための手順書です。対象のオペレーティングシステムは、Windows Server 2003 に限定されていますので、その他のオペレーティングシステムでの適用は行わないでください。

- ・ Express5800/410Ea : N8400-009A
- ・ Express5800/420La : N8400-012A
- ・ Express5800/420Ma : N8400-013A,014A

なお、以下の関連ユーティリティとインストール手順書については、別途ダウンロードが必要です。

- ・ **Global Array Manager**  
ディスクアレイのコンフィグレーションを行うユーティリティ。
- ・ **自動クリーンアップツール**  
ディスクアレイの不整合を検出して修復するユーティリティ。
- ・ **Array Recovery Tool**  
ハードディスクの不良(DEAD)を検出して自動復旧を行うユーティリティ。

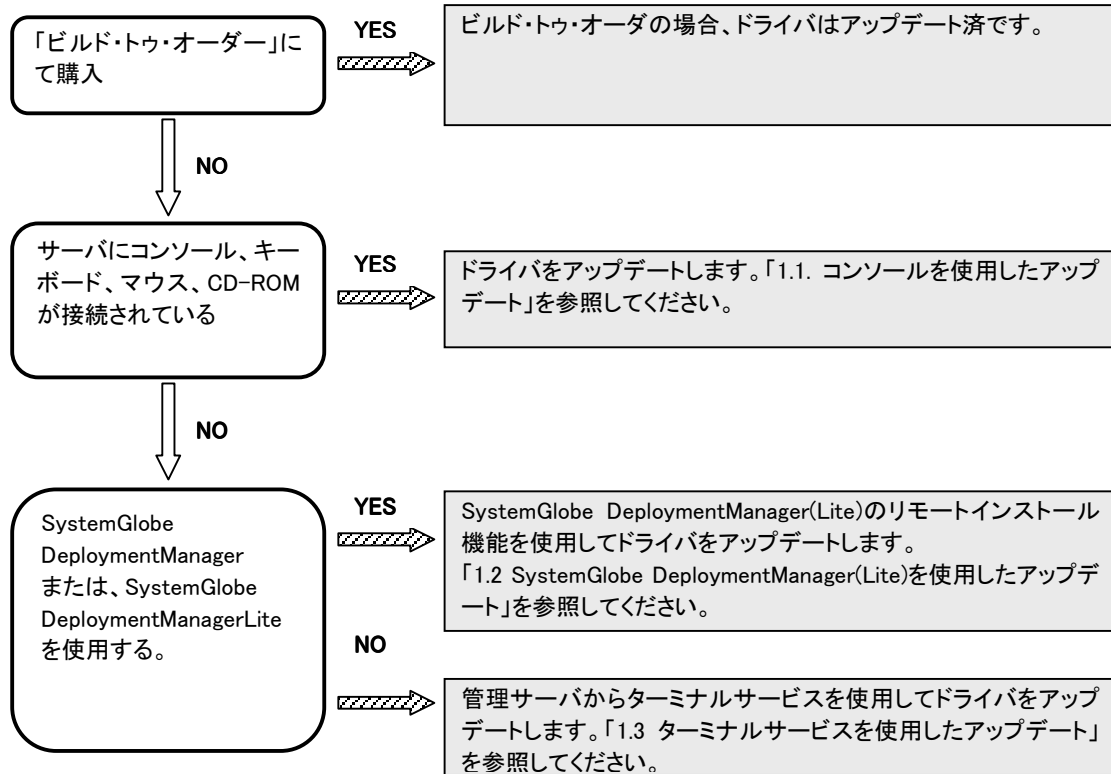
## 目次

第 1 章	アップデート手順	3
1.1	コンソールを使用したアップデート	4
1.1.1	コンソールからのアップデート	5
1.2	SystemGlobe DeploymentManager(Lite)を使用したアップデート	6
1.2.1	イメージの作成	7
1.2.2	シナリオの作成	8
1.3	ターミナルサービスを使用したアップデート	9

# 第1章 アップデート手順

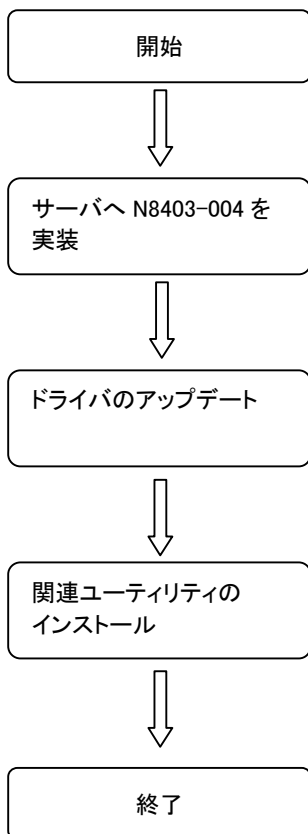
本章では、N8403-004 を制御するドライバをアップデートする手順を説明します。  
Windows Server 2003 でサーバを運用される場合は、必ずドライバをアップデートしてください。

ドライバのアップデートは、ご購入した方法や、システム環境により異なります。  
以下のフローチャートを参照して、該当するアップデート方法を決定してください。



## 1.1 コンソールを使用したアップデート

CRT、キーボード、マウス、CD-ROM などが接続されている場合、サーバのコンソールを使用してドライバをアップデートできます。以下の手順でアップデートを行ってください。



N8403-004 の実装およびアレイコンフィグレーションについては、「N8403-004 ディスクアレイコントローラ 組み立て・取り扱いの手引き」を参照してください。

ドライバのインストールに関する詳細な手順については、「1.1.1 コンソールからのアップデート」を参照してください。

別途ユーティリティと手順書をダウンロードして、インストールしてください。



ドライバのインストール作業は、Administrator 権限のあるユーザ (Administrator など) でログオンして行ってください。

## 1.1.1 コンソールからのアップデート

Windows Server 2003 対応の N8403-004 を制御するドライバをダウンロードして以下の手順でアップデートしてください。

1. 管理者権限のあるユーザ(Administrator 等)でログオンしてください。
2. ダウンロードしたモジュール内の Update.vbs を実行してください。自動的にドライバのインストールを実施します。
3. ドライバのインストール終了後、再起動を実施してください。

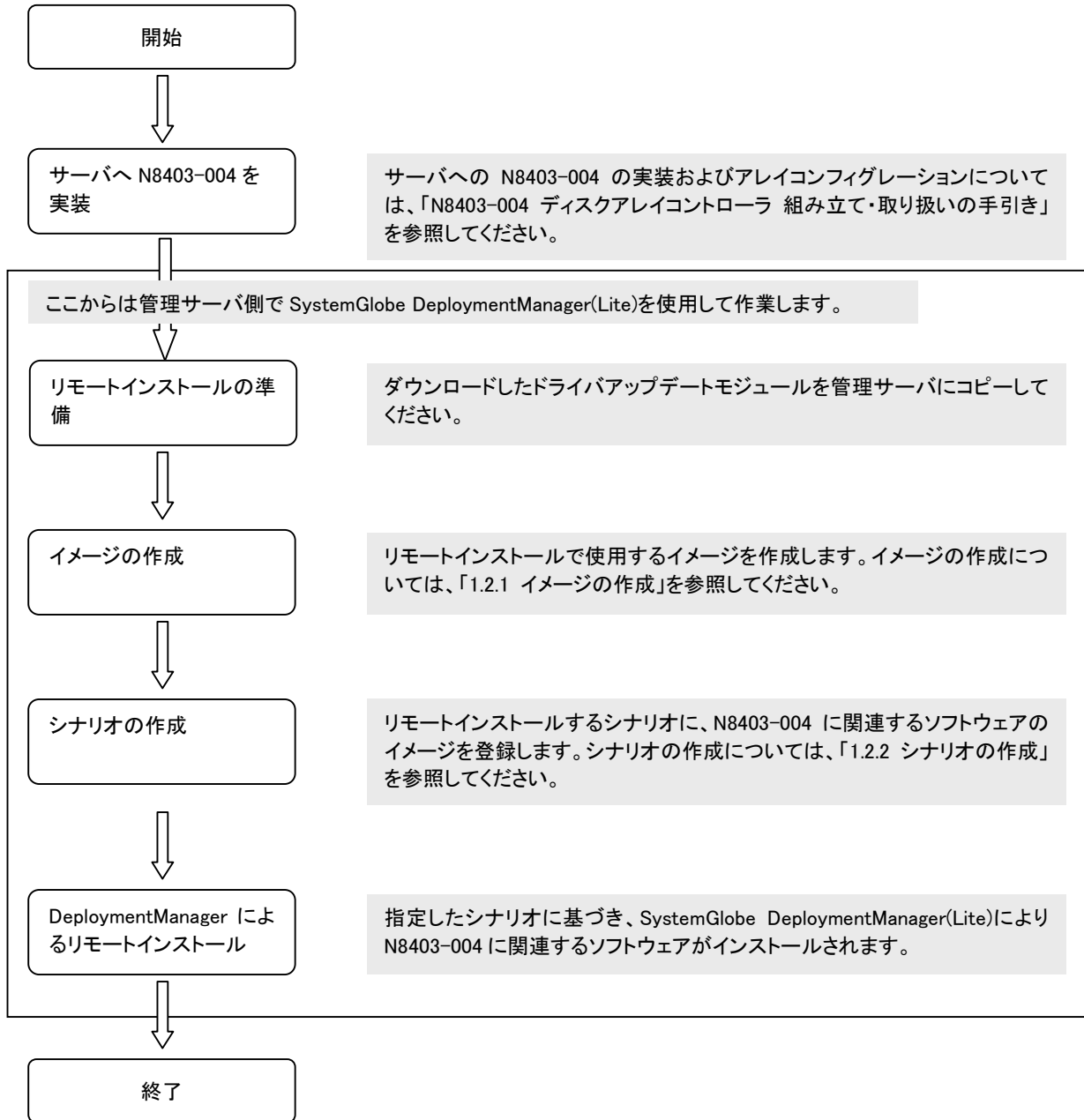
再起動後、ドライバが有効となります。

## 1.2 SystemGlobe DeploymentManager(Lite)を使用したアップデート

SystemGlobe DeploymentManager または、SystemGlobe DeploymentManagerLite がお手元にある場合、リモートインストール機能を使用して、ドライバをアップデートできます。以下の手順でアップデートしてください。



SystemGlobe DeploymentManager, SystemGlobe DeploymentManagerLite の詳細については、本体装置に添付のユーザーズガイド、SystemGlobe DeploymentManager, SystemGlobe DeploymentManagerLite 添付のマニュアルを参照してください。

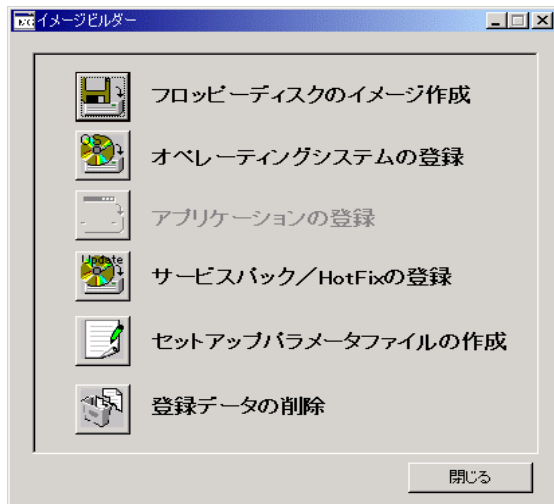


## 1.2.1 イメージの作成

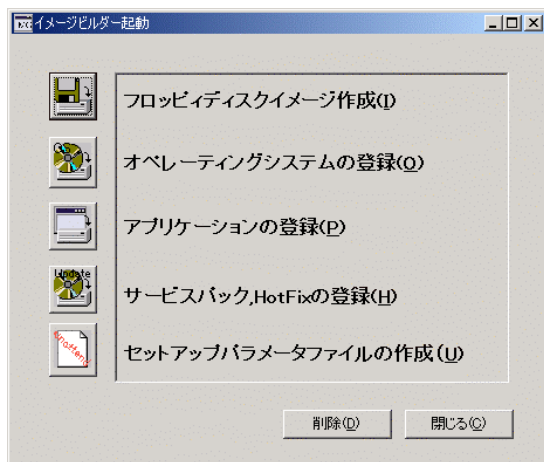
以下の手順でドライバアップデート用のイメージを作成してください。

1. SystemGlobe DeploymentManager Lite を起動して、メニューより[ツール]→[イメージビルダー]を選択します。選択すると「イメージビルダー」が起動されます。

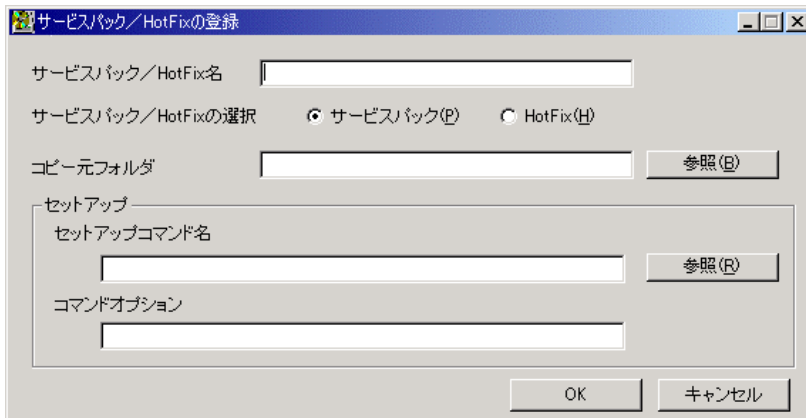
### ・SystemGlobe DeploymentManager Lite をご使用の場合



### ・SystemGlobe DeploymentManager をご使用の場合



2. イメージビルダで[サービスパック/HotFix の登録] を選択し、「サービスパック/HotFix の登録」ダイアログボックスを表示します。





- 以下の項目をダイアログボックスに入力します(“FOLDER”には、ダウンロードした”W2K3\_Drv.exe”を解凍したフォルダ名を指定してください)。

サービスパック/HotFix 名	: 任意の文字列を指定してください。
サービスパック/HotFix の選択	: [HotFix(H)]を選択してください。
コピー元フォルダ	: [FOLDER]を指定してください。
セットアップコマンド名	: [FOLDER%update.vbs]を指定してください。
コマンドオプション	: 空白のままにしてください。

- [OK]を選択し、イメージをコピーします。

## 1.2.2 シナリオの作成

イメージの作成が完了したら、シナリオを作成します。シナリオに、「1.2.1 イメージの作成」で作成したイメージをすべて登録してください。

シナリオの作成方法については、SystemGlobe DeploymentManager(Lite)のマニュアルを参照してください。

### 1.3 ターミナルサービスを使用したアップデート

サーバに CRT、キーボード、マウス、CD-ROM などのデバイスが接続されていない場合や、SystemGlobe DeploymentManager(Lite)を購入していない場合は、ターミナルサービスを使用してドライバをアップデートします。以下の手順で各ソフトウェアのインストールを行ってください。

なお、ドライバのアップデート手順は、コンソールを使用した場合と同様です。詳細なインストール手順は、「1.1.1 コンソールからのアップデート」を参照してください。



ターミナルサービスについては、本体装置に添付されているユーザズガイドを参照し、あらかじめインストールを実施しておいてください。また、ドライバのアップデートはターミナルサービスクライアントから行います。ターミナルサービスクライアントの CD-ROM は必ずドライブ文字を設定して共有してください。

